

# フランクリン・テンプレトン・グローバル・ プレミア小型株ファンド (年2回決算型)

旧名称：L.M・グローバル・プレミア小型株ファンド (年2回決算型)

追加型投信／内外／株式

## 交付運用報告書

第8期(決算日2022年12月6日)

作成対象期間(2022年6月7日～2022年12月6日)

第8期末(2022年12月6日)	
基準価額	10,080円
純資産総額	3,413百万円
第8期	
騰落率	△ 3.0%
分配金(税込み)合計	0円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は四捨五入して表示しております。

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、「フランクリン・テンプレトン・グローバル・プレミア小型株ファンド(年2回決算型)」は、2022年12月6日に第8期の決算を行いましたので、第8期の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。

当ファンドは、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

### フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社(金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第417号)はフランクリン・リソース・インク傘下の資産運用会社です。

#### お問い合わせ先

TEL 03-5219-5947

(営業日の9:00~17:00)

<https://www.franklintempleton.co.jp>

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

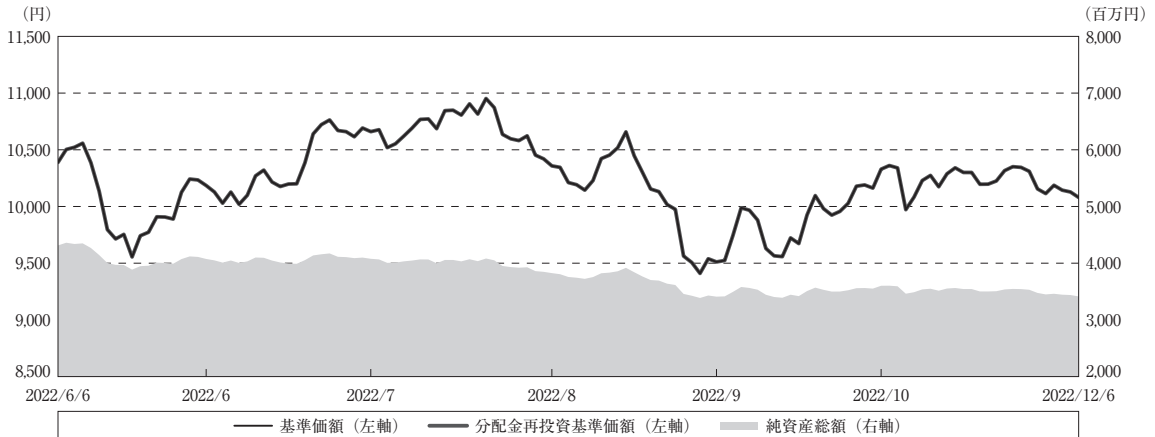
#### <運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

ホームページの「ファンド情報・基準価額一覧」等から当ファンドを選択することにより、運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。

## 運用経過

### 期中の基準価額等の推移

（2022年6月7日～2022年12月6日）



期首：10,389円

期末：10,080円（既払分配金(税込み)：0円）

騰落率：△ 3.0%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首（2022年6月6日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はマイナス（分配金再投資ベース）となりました。為替要因はプラスとなりましたが、株式要因はマイナスとなりました。

1万口当たりの費用明細

（2022年6月7日～2022年12月6日）

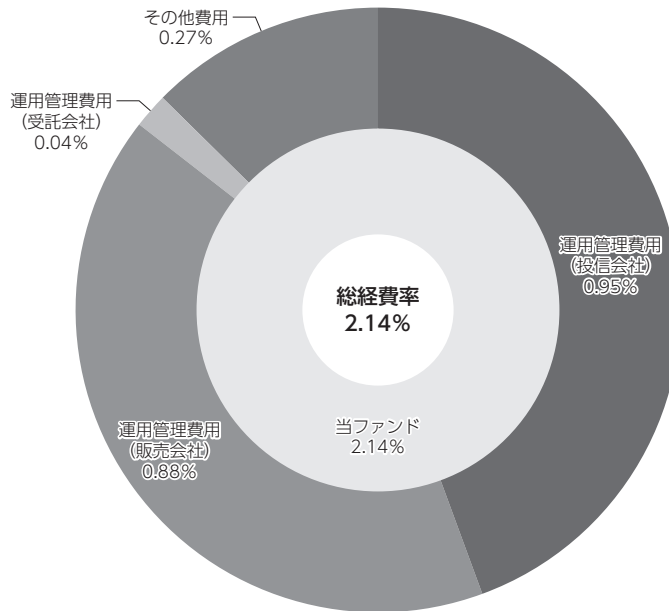
項 目	当 期		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬 ( 投信会社 ) ( 販売会社 ) ( 受託会社 )	96 ( 48 ) ( 45 ) ( 2 )	0.938 ( 0.474 ) ( 0.441 ) ( 0.022 )	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 ( 株 式 )	8 ( 8 )	0.078 ( 0.078 )	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 ( 株 式 )	1 ( 1 )	0.007 ( 0.007 )	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 ( 保管費用 ) ( 監査費用 ) ( 印刷等費用 ) ( 業務委託等費用 ) ( そ の 他 )	14 ( 3 ) ( 1 ) ( 1 ) ( 0 ) ( 9 )	0.137 ( 0.025 ) ( 0.007 ) ( 0.013 ) ( 0.003 ) ( 0.089 )	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用 計理及びこれに付随する業務の委託等の費用 インドにおける有価証券売却に伴う税金の支払い
合 計	119	1.160	
期中の平均基準価額は、10.192円です。			

- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。  
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。  
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.14%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

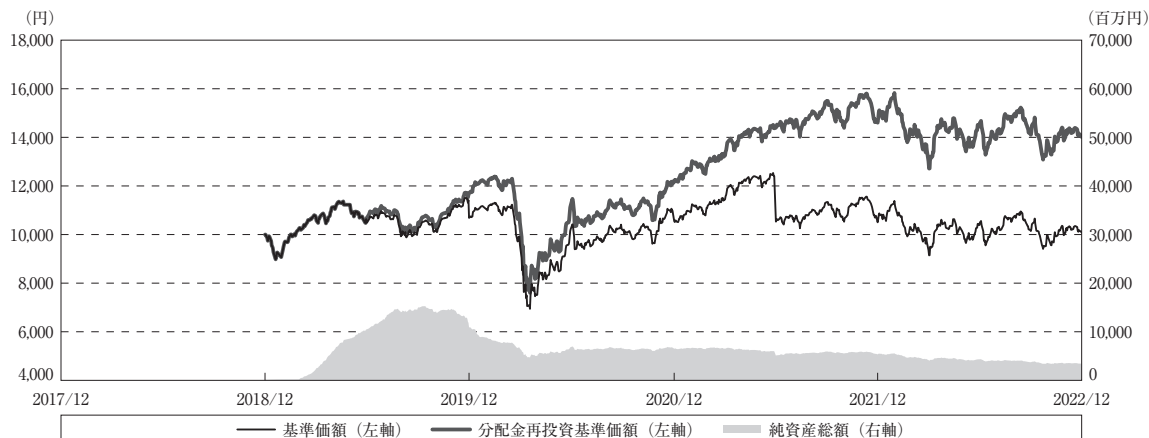
(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2017年12月6日～2022年12月6日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 当ファンドの設定日は2018年12月7日です。

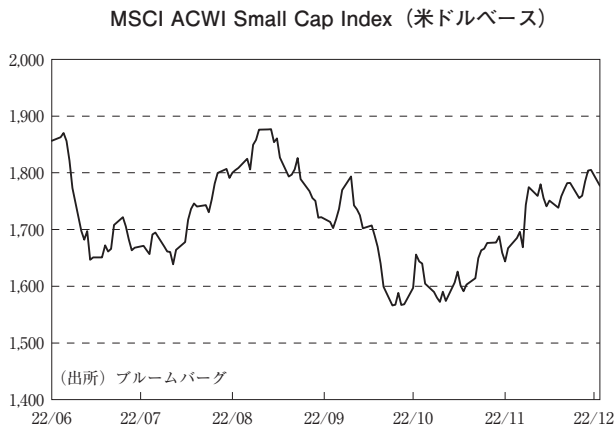
	2018年12月7日 設定日	2019年12月6日 決算日	2020年12月7日 決算日	2021年12月6日 決算日	2022年12月6日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,686	10,561	10,504	10,080
期間分配金合計(税込み) (円)	-	1,000	600	2,080	0
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	17.1	4.5	19.4	△ 4.0
純資産総額 (百万円)	121	10,919	6,513	5,344	3,413

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。  
ただし、設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2019年12月6日の騰落率は設定当初との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

## 投資環境

（2022年6月7日～2022年12月6日）

当ファンドが主要投資対象としているグローバル小型株の代表的な動きを示すMSCIオール・カンントリー・ワールド・インデックス・スモールキャップ指数（MSCI ACWI Small Cap Index）は、下落しました。米国株式については、米連邦準備制度理事会（FRB）による積極的な金融引き締め観測を背景に下落して始まった後、FRBが利上げペースを緩めるとの見方が浮上し、株価は上昇しました。その後はFRBによる金融引き締めの継続を背景に株価は下落に転じましたが、消費者物価指数（CPI）が予想を下回り、インフレ・ピークアウトが意識されたことなどから、FRBが利上げペースを緩めるとの見方が再び広がり、株価は反発しました。欧州株式については、米国の金融引き締めに加え、欧州中央銀行（ECB）が利上げを開始する方針を示したことから、株価は下落して始まりましたが、ECBも利上げペースを緩めるとの見方が浮上し、株価は上昇しました。その後はECBによる金融引き締めの継続を背景に株価は下落に転じましたが、FRBと同様、ECBも利上げ幅を縮小するとの見方が再び浮上したことなどから、株価は反発しました。為替市場では、米ドルとユーロはともに対円で上昇しました。



## 当ファンドのポートフォリオ

（2022年6月7日～2022年12月6日）

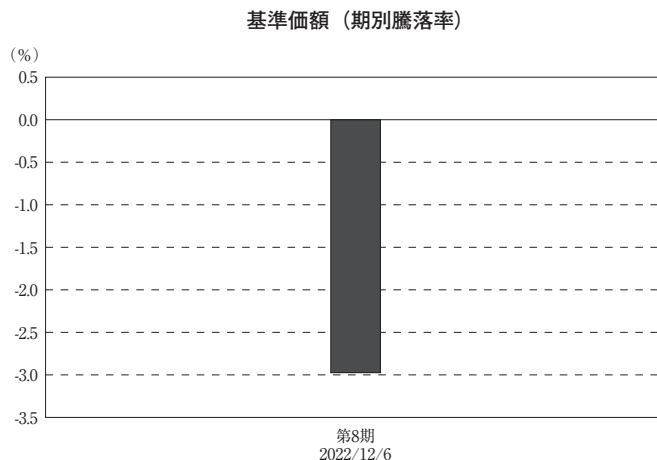
当ファンドは、主に「フランクリン・テンプルトン・グローバル・プレミア小型株マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主に日本を含む先進国および新興国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている小型株式に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指して運用に努めてまいりました。当期においては、数多くある小型銘柄の中で、質の高いプレミア企業を厳選して投資を行い、中長期的に優れた投資成果の獲得を目指してポートフォリオの構築を行いました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2022年6月7日～2022年12月6日）

市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

右記のグラフは、作成期間の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



（注）基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

## 分配金

（2022年6月7日～2022年12月6日）

分配金につきましては、基準価額動向や保有株式の配当収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

### ○分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり・税込み）

項 目	第8期
	2022年6月7日～ 2022年12月6日
当期分配金	-
（対基準価額比率）	- %
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	80

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

個別企業に対する定量的および定性的なファンダメンタルズ分析に基づき、競争力、収益性、財務の安定性に優れていると評価された銘柄を厳選し、ポートフォリオを構築します。

## お知らせ

### <主な約款変更に関するお知らせ>

当ファンドならびにマザーファンドのファンド名称変更に伴う所要の約款変更を行いました。  
(変更日：2022年9月7日)

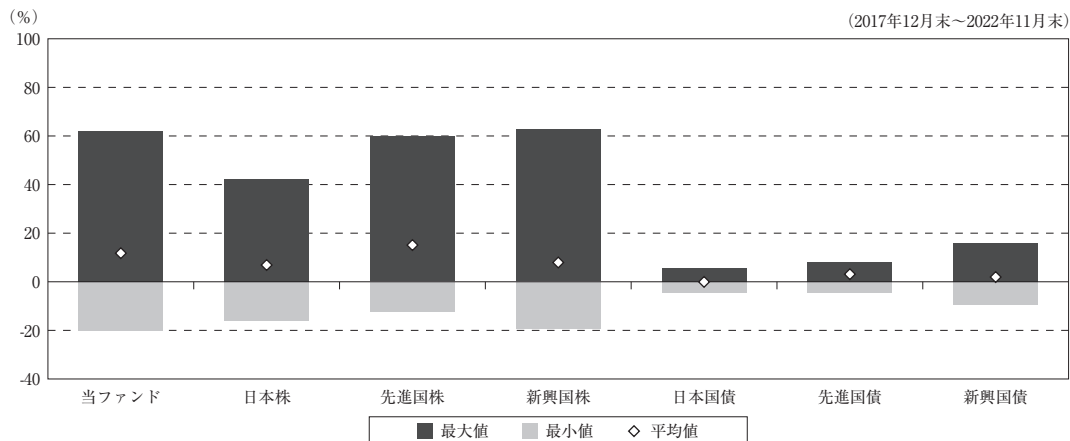
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2018年12月7日～2028年12月6日	
運用方針	主に日本を含む先進国および新興国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている小型株式に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指します。	
主要投資対象	当ファンド	「フランクリン・templton・グローバル・プレミア小型株マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	フランクリン・templton・グローバル・プレミア小型株マザーファンド	日本を含む先進国および新興国の金融商品取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている小型株式を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	フランクリン・templton・グローバル・プレミア小型株マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	決算時（毎年6月6日および12月6日、休業日の場合は翌営業日）に、基準価額水準等を勘案して収益の分配を行います。	



（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	61.9	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	15.7
最小値	△ 20.1	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 4.5	△ 4.5	△ 9.4
平均値	11.8	6.9	15.1	7.9	△ 0.0	3.1	1.9

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2017年12月から2022年11月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドは、2019年12月以降の年間騰落率を用いています。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

(※) 各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI 国債

先進国債…FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JP モルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

○代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について

騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに株式会社野村総合研究所が計算しており、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。また、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害等、当該騰落率の利用に起因する損害及び一切の問題について、何らの責任も負いません。

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI-KOKUSAI インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

NOMURA-BPI 国債

NOMURA-BPI 国債は、野村證券株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI 国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村證券株式会社に帰属します。

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE 世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）

JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット・グローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。

## 当ファンドのデータ

### 組入資産の内容

（2022年12月6日現在）

#### ○組入上位ファンド

銘柄名	第8期末
フランクリン・テンブルトン・グローバル・プレミア小型株マザーファンド	101.1%
組入銘柄数	1銘柄

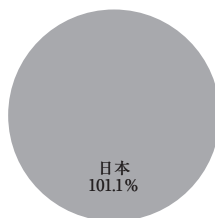
（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

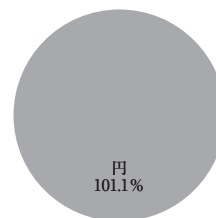
#### ○資産別配分



#### ○国別配分



#### ○通貨別配分



（注）比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

（注）通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

### 純資産等

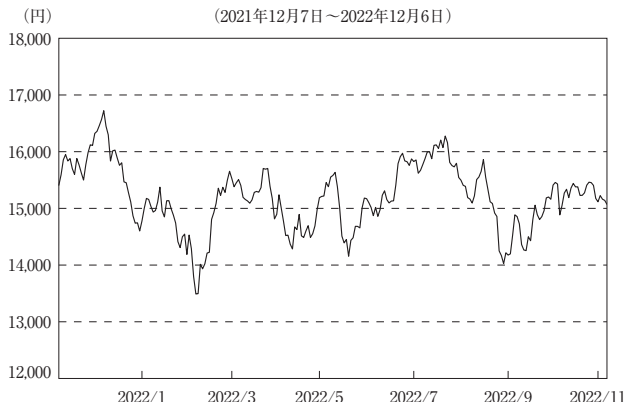
項目	第8期末
	2022年12月6日
純資産総額	3,413,766,268円
受益権総口数	3,386,642,773口
1万口当たり基準価額	10,080円

\* 期中における追加設定元本額は32,082,478円、同解約元本額は797,386,367円です。

## 組入上位ファンドの概要

### フランクリン・templton・グローバル・プレミア小型株マザーファンド

#### 【基準価額の推移】



#### 【1万口当たりの費用明細】

(2021年12月7日～2022年12月6日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	20 (20)	0.135 (0.135)
(b) 有価証券取引税 (株式)	2 (2)	0.011 (0.011)
(c) その他費用 (監査費用)	20 (8)	0.130 (0.050)
(監査その他)	(0)	(0.001)
(その他)	(12)	(0.079)
合計	42	0.276

期中の平均基準価額は、15,198円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

#### 【組入上位10銘柄】

(2022年12月6日現在)

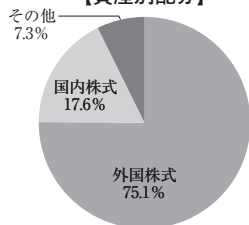
順位	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	TKC	情報・通信業	円	日本	2.3%
2	HANSEN TECHNOLOGIES LTD	情報技術	オーストラリアドル	オーストラリア	2.1%
3	INNOSPEC INC	素材	米ドル	アメリカ	2.1%
4	FORWARD AIR CORP	資本財・サービス	米ドル	アメリカ	2.1%
5	QUAKER CHEMICAL CORP	素材	米ドル	アメリカ	2.0%
6	NEW WORK SE	コミュニケーション・サービス	ユーロ	ドイツ	2.0%
7	オービックビジネスコンサルタント	情報・通信業	円	日本	2.0%
8	KADANT INC	資本財・サービス	米ドル	アメリカ	2.0%
9	KENNEDY-WILSON HOLDINGS INC	不動産	米ドル	アメリカ	2.0%
10	ENGHOUSE SYSTEMS LTD	情報技術	カナダドル	カナダ	1.9%
組入銘柄数			64銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

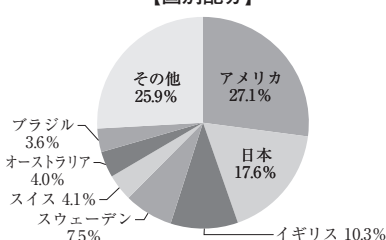
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

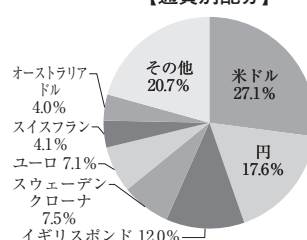
#### 【資産別配分】



#### 【国別配分】



#### 【通貨別配分】



(注) 比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。